



挑戦する心

～温もりに満ちた学校へ～

校長室だより 7月号

2023. 7. 14

- ・ <求めてやまぬ心>
- ・ 思いやりと温かな心
- ・ 言葉で伝え心で聴く
- ・ 自ら主体的に行動

1学期のまとめの時期になりました

4月の学校生活は冬服で始まり、5月に夏服へと移行した頃には、まだ「寒い場合は体操服で」と調整していました。そして6月には梅雨入りとなり、7月になると、気温が上昇してくるとともに、梅雨ならではの強い雨が地面



をたたく日が頻繁に訪れてきています。そうしているうちに、来週で1学期が終わります。気が付けば、もうそういう時期です。

学年の3分の1が終わったということですね。時間は確実に過ぎていっています。



振り返ってみて、みなさんはどう思いますか？4月の自分が目指していた自分になっていますか？4月の自分に向かって、「これだけ成長したぞ！」と胸を張って言える自分になっていますか？

自分がやろうとせず、変わろうとせず、ただ時間を過ごしては、人は成長しません。やるのも自分。やらないのも自分。歩幅は人それぞれです。一歩で大きく進む



人もいれば、小さな小さな一歩を刻む人もいます。しかし、いずれにせよ、足を踏み出すことが大切なのです。じっとしていれば、なにも変化が起こりません。まずは「決心」することです。

始業式でもみなさんに伝えましたが、また使えるような「節目」がやってきます。「1学期の終わり」「夏休みに入る」など、理由は自分でつければいいのです。自分に対して挑戦する決心をするために、節目を設定して、新たなスタートラインから自分の一歩を踏み出してください。



まかぬ^{たね}種^はは^は生えぬ

言葉のとおり、種をまかなければ何も生えてこないし、当然花が咲いたり実がなることもないということから、【行動(努力)をしないと成果が生まれない】ということわざです。やはり、行動をおこすこと、一歩踏み出すことが大事だと、人はわかっているのですね。



7月の心のテーマ

「将来の生き方を考えよう」

7月は夏休みが始まる月です。3年生にとっては、自分の進路に向き合う大切な月でもあります。また、1、2年生にとっても、家



族と過ごす時間が普段の学校生活よりも長くなります。

自分自身で、また、家族とたくさんお話しして、将来の自分の生き方について考えるいい機会にしてください。